

レジメン登録フォーマット

申請年月日	2023年8月28日	使用開始日	
登録診療科	婦人科	申請医師	渡辺 正洋
レジメン名	PLDC+BEV(卵巣癌・卵管癌・腹膜癌)(ホスアプレビタント)		
疾患名	卵巣癌・卵管癌・腹膜癌	適応の備考	プラチナ製剤感受性再発
適応分類	進行・再発		
1コース日数	28	日間 総コース数	6
抗がん剤投与量・投与日		ドキシル30mg/m ² day1、カルボプラチン5AUC/body day1、ペバシズマブ 10mg/kg day1・15	コース 催吐性リスク day1:高度、day15:最小度
治療スケジュール・投与日程(投与日は●)			

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
1	主ルート	生食250mL	1 本 / body		●																											
	点滴静注	ホスアプレビタント注150mg	1 本 / body	30分	●																											
2	主ルート	パロセトロン注ハック0.75mg	1 本 / body		●																											
	点滴静注	デキサート注6.6mg デキサート注1.65mg	1 本 / body 2 本 / body	30分	● ●																											
3	主ルート	5%ブドウ糖液100mL	1 本 / body	15分	●																											
	点滴静注																															
4	主ルート	5%ブドウ糖液250mL	1 本 / body		●																											
	点滴静注	ドキシル注	30 mg / m ²	1mg/分	●																											
5	主ルート	5%ブドウ糖液100mL	1 本 / body	15分	●																											
	点滴静注																															
6	主ルート	生食250mL	1 本 / body	90分	●																											
	点滴静注	カルボプラチン注	5 AUC / body		●																											
7	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5分	●															●												
	点滴静注																															
8	主ルート	生食100mL	1 本 / body		●																●											
	点滴静注	ペバシズマブ注	10 mg / kg	30分	●															●												
9	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5分	●																●											
	点滴静注																															
	経口投与	デカドロン錠 分2 朝食後	8 mg / body			●																										
	経口投与	デカドロン錠 分2 朝食後	16 mg / body				●	●																								

【投与上の注意】

- ・ホスアプレビタントは血管痛が報告されているため、溶解には可能な限り生食250mLを使用すること(最低でも100mL以上)。
- ・ホスアプレビタントは抗がん剤投与の1時間前に30分かけて点滴すること。
- ・ホスアプレビタントの次に5-HT3受容体拮抗薬+デキサート注を投与して、その次に抗がん剤を投与すること。
- ・ドキシル:最大投与量は500mg/m²。
- ・ペバシズマブ:希釈は生食のみ。
- ・ペバシズマブ:投与速度は1回目90分、2回目60分、3回目以降30分。